剣の道
題字　本多貫一氏
発行所　西尾市剣道連盟
発行人　鈴木　睦
TEL52-2325
印刷所　(株)MICグループ

令和６年度　西尾市剣道連盟の活動に向けて
先を見据えて

西尾市剣道連盟会長
田中　浩二

昨年度は、平坂中学女子剣道部の６年連続全国大会出場や西三河剣道大会全部門制覇など素晴らしい活躍がありました。毎年のように、素晴らしい成績を上げていることは、会員相互の切磋琢磨の結果であると思います。本年度も今まで以上の活躍を期待します。

ところで、西尾市寺津町出身、外山滋比古氏（日本の英文学者、言語学者、お茶の水女子大学名誉教授２０２０年没）の著書『思考の整理学』をご存じでしょうか。１９８６年に文庫化され、時代を超えて今も幅広い層に読まれ続けています。

氏は本書で、「人間が自ら考えることの重要性」を説いています。人間を「グライダー型」と「飛行機型」に例え、「これまで日本の学校は、教師が手取り足取り生徒に知識を詰め込むばかりで、生徒が自分の頭で考える訓練を疎かにしていた。その結果、生徒は引っ張られて飛ぶグライダー型ばかりになり、自分の力で飛べる飛行機型は育たなかった」と言います。さらに、「グライダー型人間は、新しい事態や時代の変化に対応できない」とも。

この外山氏の指摘は48年経っても色あせず、むしろ、時代の変化が速くＡＩやＩＴなどが発達した今こそ、グライダー型人間ではなく飛行機型人間が求められています。

さて、現在、本連盟には重要な課題があります。それは、２０２３年度から公立学校での休日部活動の地域連携・地域移行がスタートし、子供たちのスポーツ環境が大きく変化し始めている状況への対応です。剣道では本連盟が中心となって、効果的な方法の集約や情報共有を進めるなど、所属する各団体をリードし、サポートすることが求められています。そのため、学校（保護者）・地域剣友会・道場との連携強化を図り、「いつでも」「どこでも」稽古ができ、指導者のいる環境づくりと指導者の育成に取り組まなければなりません。まさに、学校の部活動に頼ってばかりであった「グライダー型」から脱却して、わたしたち自身で剣道に取り組める環境を作っていく「飛行機型」へと変わっていかなければならないのです。

今後も剣道を通じて、子供たちの「健やかな心と身体」と「自ら考える力」を育てていくことが本連盟の役割であると思います。関係各位の皆様、会員の皆様のより一層のご支援、ご協力をいただきながら一歩ずつ進んでいきたいと考えています。

テング登場

福地南剣友会顧問　手島菊次先生

私が剣道を始めたのは21歳の時で、職員から警察官に転職に寄るものでした。人を守り自分自身を守るための護身術の授業のカリキュラムのひとつで柔道と剣道両方を3か月稽古し、その後どちらかを選択するときに、剣道コースを選びました。

私が新米の時には夏の暑い時に職場で各署対抗の剣道大会、柔道大会が有りその中で選手で参加し3位入賞を果たすことができました。

私が剣友会にかかわることになったのは、私の子供が小学校の剣道部に入部した時です。その時の顧問は杉浦久男先生で、その夏に東京大会に出場するということで小学校に剣道の部活の三地区共同で、各道場の先生方々の協力の下で活動し始めました。何処の稽古場でも自分の参加したい曜日に稽古が出来る、相撲で言う出稽古で活動しています。

私も微力ながら西尾市の剣道発展と地域の活動として小学校、中学校での活動に尽くしていきたいと思っています。

状況を見学に行ったことから私と福地南剣友会の関係が始まりました。誰もが剣道を楽しく続けていける環境作りをモットーにはや36年が経ちました。

当時の子供達も頑張ってきびしい稽古をしてきました。

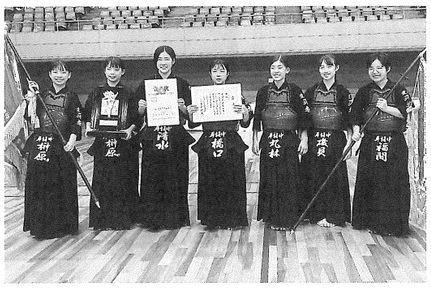
杉浦優治先生が顧問の時は、全日本少年武道錬成大会でコート優勝など沢山の成果と思い出を作ることができました。

今年一月から、発起人の村松宗徳先生を中心に福地南剣友会、吉良剣友会、一色光友会の三地区共同で、各道場の先生方々の協力の下で活動し始めました。何処の稽古場でも自分の参加したい曜日に稽古が出来る、相撲で言う出稽古で活動しています。

私も微力ながら西尾市の剣道発展と地域の活動として小学校、中学校での活動に尽くしていきたいと思っています。

第53回全国中学校総合体育大会出場
平坂中学校女子剣道部　６年連続出場
「伝統の力」

平坂中学校剣道部顧問　近藤　憲秀



昨年度、史上初の県大会五連覇を達成しました。今年度の選手たちも、昨年度の先輩たちを追い越せるように、日々の稽古に励んでいました。

そして、夏の予選が始まりました。地区予選では、勝利はしたものの不安定な試合運びに終始し、錬成会では、チームとして勝ち切れない状況が続いていました。

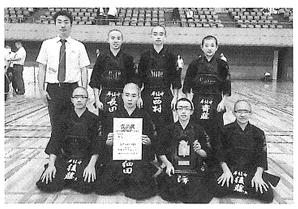
そのような状況で迎えた県大会では、チーム力を生かし、着実に勝利を積み重ねていきました。決勝では、一本リードされる厳しい状況で大将戦へと回りました。しかし、強い気迫と攻めで相手の手元を上げさせ、コテを二本捉えたところで、先輩たちの記録をこえる史上初の県大会六連覇を達成しました。

県大会では、先輩が残していった伝統を絶対に途絶えさせないという選手の強い気持ちを感じました。この伝統の力は平坂中学校の強みの一つであると感じました。県大会六連覇の快挙は、平坂中学校剣道部にかかわったすべての方々のおかげであるということを改めて考えさせられました。

現在は、五人揃わない厳しいチーム状況となっています。しかし、先輩が必死になってつないだ伝統を途絶えさせないためにも、県大会を制し、全国大会優勝を目標に、日々の稽古に励んでいきたいと思います。

東海中学校総合体育大会　出場
平坂中学校　男子

平坂中学校剣道部顧問　福間　隆二



全国制覇を目標に1年間頑張ってきました。

3年生が2人と少ない中、1・2年生と力を合わせ、どのチームにも負けないチームワークを武器に夏の大会を勝ち上がっていきました。

県大会では、決勝戦まで勝ち上がりながら、惜しくも代表戦の末に敗れてしまいました。この時点で全国への夢は潰えてしまいましたが、私たちは最後の東海大会にすべてを出し切ることに決めました。しかし、結果は予選リーグ敗退。正直に言えば悔しさはあります。それでも、やり切ったすがすがしさがありました。ここで戦えたことに感謝し、次のステージでも活躍していきたいと思います。

東海中学校総合体育大会　出場
西尾中学校　女子

西尾中学校　中村　百々羽

県大会で二位に入賞し、八月に岐阜県で行われた東海大会に出場しました。大会の雰囲気にのまれないように、チームで声をかけあいながら、いつも通りの気持ちで試合に挑みました。予選リーグを二位通過して、決勝トーナメントへ進んだものの結果は初戦敗退。静岡県の東海大翔洋中から一本も取れず、まだまだ自分たちに足りないものが多いことを実感しました。日々、私たちを応援し、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、夏の大会では全国大会に出場し、ベスト8以上を目指します。

全日本剣道選手権大会　出場

株式会社ＮＴＴドコモ　兵藤　裕則

２０２３年11月3日、日本武道館で開催された第71回全日本剣道選手権大会に初出場しました。

幼い頃から憧れていた舞台に、9度目の挑戦でようやく立つことができました。私は西尾市で6歳の時に剣道を始め、部活動と道場に通いながら剣の腕を磨きました。小中学生のときはたくさんの指導者の先生に恵まれ、様々な経験を積むことができました。そういった経験から剣道に対する意欲が向上し、高校に進学する際に日本一の剣道家になりたいと夢を抱き、県外の高校に進学しました。

その後、大学を経て社会人となり現在は実業団剣士として仕事・剣道・家庭を大切に、時間を有効活用しながら稽古に励んでいます。剣道に対して日頃から意識していることは、「上達したい」という気持ちを忘れないことです。

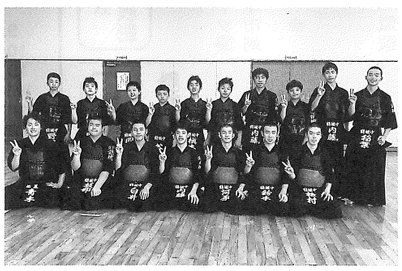
学生時代に比べ、稽古量は格段に落ちますが、その中で自分の剣道をどうやって伸ばすかということを考え稽古や日々の生活を過ごしています。全日本選手権当日は、幼少期を共に過ごした仲間や先輩、恩師の先生も応援に駆けつけていただき私の後押しをしてくれました。結果は初戦敗退となってしまいましたが、この経験を糧にまた来年も同じ舞台に立てるよう精進したいと思います。また、今後も西尾市から一人でも多くの全日本選手権出場者が出ることを願うとともに、微力ながら子どもたちに勇気、希望を与えられる存在になりたいと思います。

東海中学校総合体育大会　出場
鶴城中学校　男子

鶴城中学校　主将　梅村　吉崇

僕たちは、「全中出場」という目標を掲げてきました。しかし、なかなか結果が出せない苦しい日々が続きました。それでも諦めず、仲間と共に必死に稽古に励みました。目標の全中に出場するために。そして先輩たちの背中に追いつくために…。

結果は、市大会二位、西三大会二位、県大会三位、東海大会出場。正直、悔しさもあります。



しかし、それ以上に僕たちはこの夏を最高の夏にすることができました。

西尾市剣道連盟　ホームページ　https://www.nishio-kendo.com

第66回 中部日本剣道大会観戦記

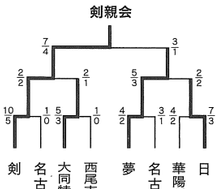
西尾市剣道連盟　鈴木　睦

県内、県外から92チームが参加。県外からは、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、石川県など十七チームの参加があった。東京都日體会は、今年度全日本剣道選手権大会で個人優勝の棗田龍介選手も出場している。

尾野博之審判長の合図で試合開始。決勝トーナメント進出は8チーム。準決勝には、剣親会対大同特殊鋼本社、夢国体対日體会が駒を進めた。西尾剣連Aは大同チームに惜敗しベスト8。決勝戦は赤・剣親会対白・夢国体。審判は主審平井道典氏、副審大河内鉄彦氏・山田久夫氏。午後3時試合開始。

先鋒赤・宮崎対白・小川。宮崎はすり足で細かく攻めメンを先取。続いて素早くツキを決め二本勝ちとする。次鋒赤・屋我対白・柴田。両者メンを放つがまっすぐ伸びた屋我が先取する。柴田は素早い足捌きで相手を交わすが時間切れ。中堅赤・山田対白・小倉、両者スピード感があり、小倉が引きコテを先取。両者体当たりで瞬間山田は引きメン、続いて出ゴテを決め、3対0とする。副将白・大橋は思い切ってメンを放つが赤・倉成の面金、直後引きメンを先取する。倉成は二本目開始早々コテを取り返す。この後大橋は近間からのコテを決めて3対1とする。大将戦赤・久田松対白・加藤。加藤は一本取りたいところだ。久田松は相手がメンに出たところドウを抜く。この後加藤はコテを放つが白旗一本。剣親会は夢国体に4対1として優勝を決めた。

《決勝トーナメント》



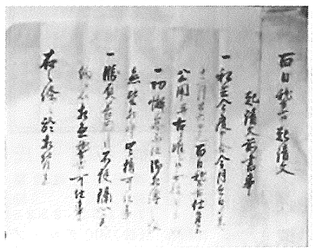
西尾藩の剣術 ―幕末の武術稽古熱―

榎本　鐘司

榎本　鐘司氏

文政八年に江戸藩邸で生まれ、維新期に西尾藩大参事に任ぜられた川住教の日記が、昭和五年に『士習年譜』として冊子化されている。かなり前に入手したものであるが、最近、江戸常住の西尾藩上士が如何なる武術修行をしていたかといった視点から、再読した。

川住は十三歳の頃には藩の「御流儀」高田流鎗術を学んでいた。十九歳、白井亨義謙より天真一刀流の目録を受けた。二十二歳、鈴木柔左衛門から「柔術勝負口」の伝授。などなど、興味ある記録がみいだされたが、目を引いたのは二十七歳（嘉永四年）「柔術寒稽古皆席」、二十九歳（嘉永六年）「天真剣道稽古数日早朝より罷出」、三十歳（安政元年）「天真剣道寒稽古皆席」といった、数日間にわたって早朝寒気の中で心身鍛錬を目的とする「寒稽古」という記録（用語）の出現である。



これに関連して、養勇流剣術師家の田代家文書に、一通の「百日稽古起請文」のあることを思い出した。養勇流剣術七代田代藤右衛門辰益宛に、西尾藩家中門人二十名が嘉永四年九月十五日から百日間の稽古遂行を連署血判の上で確約した起請文（写真）である。

幕末、特に嘉永年間に剣術熱はピークに達した。江戸中期には芸道化していた〈剣術〉は、幕末には、技法のみならず強靭な心身を育成する〈撃剣〉の猛稽古のシステムに変容した。ただ、「百日稽古」のような猛稽古は特別なことであっただろう。

第41回 愛知県少年剣道個人選手権大会 中学2年の部　優勝

愛知愛心館・西尾中　鈴木　正大

6月4日、愛知県武道館で行われた全国大会予選。この日は優勝しか頭にありませんでした。試合が全て終わるまでは集中力を切らさないと朝からずっと決めていました。アップの時も平常心を保ち冷静に試合の準備をしました。試合が始まると出場選手が互いに激しく打ち合い、この日に懸けているのが伝わってきました。自分の試合が迫ってくると緊張感に追い込まれているような気がしました。体中に氣を行き渡らせ「自分を信じて前へ」と前向きに考え試合を進めました。結果は苦しい場面もありましたが2年生の部で優勝して代表決定戦に進みました。まず1年生の部優勝者との試合に勝ち、次に3年生の部準優勝者との試合に勝ち愛知県代表として全国大会の出場権を獲得出来ました。今までずっと憧れ続け、届きそうで届かなかった全国大会に出場できることになり、とても嬉しかったです。

10月15日、埼玉県立武道館で行われた全国大会では残念ながら広島県代表の選手に1本取られ負けてしまいましたが、全国大会で上位入賞する選手の技術面、そして1本に対する気持ちと駆け引きが自分よりはるかに上だということを肌で実感することができました。今年もまたこの舞台に立てるように日頃から「前へ」と意識を高め、根気強く進んで行きたいと思います。

西三河剣道段別剣道大会 中学校男子二段の部　優勝

吉良中学校　稲垣　匠

僕は、大会で優勝することを目標に、日々の稽古で、攻め方の工夫や打った後の足の作りを早くすることを意識しました。決勝戦では、打った後のつくりを早くし、中心を攻めることで、相手を翻弄することができました。その結果、相手の手元を上げさせ二本勝ちすることができました。

優勝することができたのは、自分一人だけの力ではなく、教えてくださる先生方や一緒に稽古をする仲間達、支えてくれる家族の存在があったからです。そんな支えてくれる人達のために勝つことができてよかったです。

高校では、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、インターハイ出場を目ざして日々の稽古をがんばっていきます。

西三河剣道段別剣道大会 高校男子二段の部　優勝

西尾高校　寺島　莞太

8月26日、西尾市総合体育館で行われた西三河剣道段別選手権大会は、新チームになってからの個人戦の初陣でした。アップの時は、体の動きはよくはなかったですが、心を整理したおかげで冷静さを保てました。試合が始まっても自分には珍しく緊張もないまま試合に臨むことができました。結果は長く苦しい試合もありましたが、優勝することができました。今後も仲間と共に鍛錬していきます。

西野町剣修会・西尾で一番を目標に！

西野町剣修会　稲葉　健太郎

私が西野町剣修会の指導を始めて、もうすぐ4年が経ちます。剣修会は部活動と連動していたため、5年生以上で部員も少人数でしたが、ここ1年で低学年の募集も開始し、すこしずつ部員も増えてきました。西野町は小さな学校のため今後は校区外も募集して、活動していきたいと思っております。

西野町の練習は週に3回～4回で、たくさんのことを練習することはできませんが、みんなここでの練習だけで成長してくれています。こんな小さな団体でも『まずは西尾で1番になる』を目標に厳しく楽しくやっています。その成果があってか各試合で結果がでるようになりました。

『剣の武剣道大会』では、こどもたちの心が一つになり、優勝を勝ち取ることができました。

続く、西三大会でも3位入賞ができ、部員たちも『西三で一番になりたい！』と目標も上方修正されました（笑）

小さな学校で少人数のチームですが、それでもみんな一丸となって頑張るチームです。私はそんなこどもたちを教えられることに誇りを持っています。

県スポーツ協会 功労者表彰

○特別功労者表彰
・木村　昌保　様
前西尾市スポーツ協会理事長、西尾市剣道連盟相談役

○功労者表彰
・谷　昌行　様
西尾市剣道連盟監査、西尾愛剣会会長

昇段おめでとう

剣道（四段以上）

七段　青山　敏彦
荒川　竜也

六段　福間　隆二
尾崎　清和

五段　杉浦　政之
山崎　鈴乃
木村　英一
石川亮太郎

四段　川口　暢
三輪　侑司
都築　大聞

令和6年度事業計画（案）

月日曜	大会等名称	会場
R6. 4. 7日	木刀稽古法講習会	西尾市総合体育館武道場
4. 21日	令和6年度西尾市剣道連盟総会	福ふく
4. 28日	三市合同春季剣道級審査会	碧南市臨海体育館
5. 4土	春季剣道初～三段実技審査会	西尾市鶴城体育館
5.6月・振	春季剣道初～三段形講習・審査会	スカイホール豊田
5.6月・振	高体連西三河予選会（個人）	西尾市中央体育館
5. 11土	第105回東剣会剣道個人選手権大会・総会	東部中学校
5. 11土	高体連西三河予選会（団体）	西尾市中央体育館
5. 25土	第141回市内剣道個人選手権大会・総会	平坂中学校
5. 25土	西尾市剣道連盟指導者講習会	平坂中学校
5. 25土	第25回西三河剣道指導者講習会	刈谷市体育館
6. 2日	第47回かきつばた杯女子剣道大会	スギ薬局知立福祉アリーナ
6. 8土	西尾市スポーツ協会定時社員総会並びに功労者表彰	西尾市総合体育館
6. 15土	第71回西三河剣道大会	岡崎市中央総合公園武道場
6. 23日	第64回小学校剣道大会	八ツ面小学校
7. 13土	西尾市中学校総合体育大会・剣道	西尾市中央体育館
7. 23火	西三河中学校剣道選手権大会	東祥アリーナ安城
8. 1木	第77回愛知県中学校総合体育大会	春日井市総合体育館
8. 4日	夏季剣道初～三段剣道形講習・審査会	刈谷市体育館
8/8,9木・金	東海中学校総合体育大会・剣道	静岡県武道館
8. 10土	木刀稽古法講習会	西尾市総合体育館武道場
8. 11日	夏季剣道初～三段実技審査会	三好公園体育館
8.12月・振	三市合同夏季剣道級審査会	西尾市中央体育館
8. 24土	第43回鶴剣会暑中合同錬成会・総会	鶴城小学校
8. 24土	全三河高校剣道大会	東祥アリーナ安城
8. 25日	西三河剣道段別選手権大会	スカイホール豊田
	第53回全国中学校剣道大会	新潟市
9. 21土	西野町剣修会合同錬成会	西野町小学校
10. 6日	第70回西尾市市民体育大会剣道競技(10/5準備会)	西尾市中央体育館
10. 6日	西尾市剣道連盟指導者講習会	西尾市中央体育館
10.14月・祝	第1回西三河小学生剣道選手権大会（新規）	岡崎市中央総合公園武道場
10. 20日	第23回西三河剣道形大会	スギ薬局知立福祉アリーナ
10. 20日	木刀稽古法講習会	西尾市総合体育館武道場
10. 23水	第1回理事会	西尾市総合体育館
10. 26土	第65回剣の式剣道大会	平坂小学校
10. 26土	高体連新人戦西三河予選（個人）	西尾市中央体育館
10. 26土	第26回西三河指導者講習会	スギ薬局知立福祉アリーナ
10. 27日	西三河日本剣道形大会	スギ薬局知立福祉アリーナ
11. 2土	高体連新人戦西三河予選（団体）	西尾市中央体育館
11. 3日	秋季剣道初～三段形講習・審査会	東祥アリーナ安城
11. 16土	秋季剣道初～三段実技審査会	西尾市中央体育館
11. 17日	三市合同秋季剣道級審査会	高浜市地域交流施設たかびあ
11.23土・祝	西三河中学生選抜稽古会	西尾市中央体育館
11. 30土	第106回東剣会剣道個人選手権大会	東部中学校
12. 7土	（仮称）鶴城道場剣道大会（市内全域対象）	鶴城体育館
12. 7土	にしお駅伝フェスティバル2024スタッフ会議	西尾市総合体育館
12. 8日	第11回西尾市南部地区剣道大会	吉良中学校
12. 14土	第142回市内剣道個人選手権大会（平中校区）	平坂中学校
12. 15日	にしお駅伝フェスティバル2024	愛知こどもの国
12. 21土	西三河指導者講習会	スギ薬局知立福祉アリーナ
12. 22日	第4回西尾市少年剣道錬成大会	西尾市中央体育館
R7.1.1水・祝	第63回西野町剣修会剣道初稽古会	西野町小学校
1. 15水	第67回中部日本剣道大会役員・担当主任会	西尾市総合体育館
1. 19日	第3回にしおマラソン	西尾市街地
1. 25土	西三河高校剣道大会	西尾市中央体育館
1. 26日	地域剣道団体代表者会	西尾市総合体育館
2. 1土	第67回中部日本剣道大会準備会	西尾市中央体育館
2. 2日	第67回中部日本剣道大会	西尾市中央体育館
2. 9日	第23回剣道祭・高段者大会	刈谷市体育館剣道場
2. 23日	第40回西三河少年剣道大会	スカイホール豊田
3. 2日	第45回秋田杯まこと少年少女剣道大会	スギ薬局知立福祉アリーナ
3. 12水	第2回理事会	西尾市総合体育館
3. 22土	西三河剣道持ち回り稽古会	西尾市総合体育館
	第55回愛知県春季少年剣道大会	
	第31回全国高等学校選抜剣道大会	
	全国選抜少年剣道錬成大会	

◆西尾市剣道連盟月例稽古会　19：00
一般・青年・女子部合同 第1〈青〉・2・3・4土曜日　総合体育館

◆にしおチャレンジみらい塾稽古会
各中学校区の計画により実施。

◆幼少年剣道入門教室
第2・4土曜日（17:00～18:30）総合体育館

◆レベルアップ剣道教室
休止

◆総務委員会
（事業計画案に基づき、必要に応じて理事長が招集）年間6～7回

＊令和6年度各種剣道大会については、愛知県剣道連盟発行の事業計画をご参照下さい。（後日配布）